

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	区民と学生の交流拠点整備事業
事業主体 (連絡先)	糠千清流の郷委員会 会長：塩島真一 (担当部署：木島平村教育委員会生涯学習係 TEL：0269-82-2041)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業 (1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	491,201円 (うち支援金：342,000円)

事業内容

木島平村糠千地区は、34世帯・約100人と、近年著しく過疎化・少子高齢化・空き家の増加が進んでいるが、平成23年より大学生と積極的に交流を行い、地域課題の解決に取り組んでいる。昨年度には、集落内の空き家を借り、区民と学生との協働で改修し、学生がいつでも集落に来て活動・滞在できる学生の拠点(屋号から「ひやしの家」と命名)を整備した。

今後、より一層活動の幅を広げ、自立した取り組みにするためにも、防火・消防設備等を整え、飲食店営業許可と旅館業営業許可を取得し、そこを拠点に、より活発に学生との協働の地域づくりを実践していく。



【学生と協働で内装工事を実施】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①旅館業・飲食店営業許可を取得したことで、最大の課題である施設の維持管理費を、今後利用者から最低限の宿泊費をいただくことで解決できる見込みであり、自立した取り組みへと一歩進めることができた。
- ②今年度は約100人の学生が糠千区に訪れ、「ひやしの家」を拠点に区民との交流を楽しんだ。
- ③学生たちは「ひやしの家」を拠点に、集落行事や農作業の手伝い、高齢者との交流など、より日常に寄り添った取り組みが可能になり、地域に賑わいを創出し、マンパワー不足の解消や集落機能の維持に一役買った。

- ①旅館業・飲食店営業許可の取得
- ②学生の拠点施設としての利用
- ③学生との交流による地域の活性化

【目標・ねらい】

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・学生のみならず、地区住民の集うコミュニティスペースとしても利用し、活発に意見交換のできる地域づくり活動の拠点にしたい。
- ・将来的には、一般人を対象にした飲食店営業(そば屋)や、農村体験・移住体験・冬季の閑散期を活かしたウインターレジャーも体験できる宿泊施設としての活用も検討している。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
- 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

※自己評価【B】

【理由】
計画通り、飲食店と旅館業の営業許可を取得することができ、区民と学生との交流拠点として有効に活用をはじめることができた。